

東京都知的財産総合センター 成果事例のご紹介③(全11回)

知的財産権の網で守る 「カラスよけネット」を全国展開のビジネスに

有限会社 エス・ティ・エム

2004年に創業し、カラス被害対策商品を主力にビジネスを展開している。都市環境と美観に配慮したデザインと、主婦や清掃業者への使いやすさを兼ね備えた製品コンセプトが持ち味の企業。

代表取締役：五十嵐 美智子

所在地：東京都八王子市片倉町119-2

業種：環境整備製品の企画・開発・製造

資本金：500万円

自己流の特許出願に行き詰まり

カラスに関する苦情は収まらない。ゴミ袋を食いちぎり、わがもの顔に中身を道路にまき散らしている光景は、住民や自治体にとっては悩みの種だ。(有)エス・ティ・エムはこうしたゴミ置き場のカラス被害に対応した製品を展開している。

製品はゴミ集積場向けの「ネットステーション®」と戸別収集向けの「カラスのあみちゃん®」が2本柱。

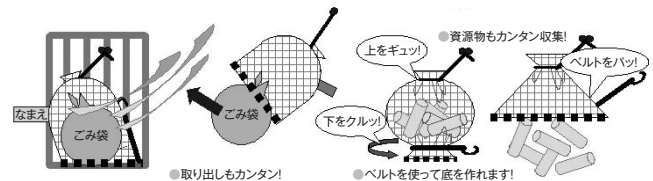
五十嵐社長は創業以来、特許の重要性を認識し、「ネットステーション®」は自力で特許を申請し特許権を取得した。これが同社の特許第1号だ。しかし、「自己流で書いた特許は結果的に権利が狭く不利が生じることも多かった」と振り返る。そこで第2号となる「カラスのあみちゃん®」の特許申請については慎重に準備を進めることにし相談先を探した。

東京都知的財産総合センターのベストなアドバイス

五十嵐社長は地元の行政機関等いろいろ相談し、紹介されたのが東京都知的財産総合センター。同センターでは、知財について経験豊かな相談員と弁理士が無料で企業をサポートしている。五十嵐社長は、相談員・弁理士と、まずどういう権利が取れるか、特許か実用新案か、意匠かについて「カラスのあみちゃん®」の工夫点をあらゆる角度から検討した。その結果、この新商品は権利期間

の長い特許で権利化できる可能性ありと判断した。今度は権利範囲の広い強い特許出願の書き方について相談員・弁理士のアドバイスを受け、短期間で出願することができたのである。

現在、同社は特許出願に次いで同センターの指導を受けながら知財戦略を活かした経営に取り組んでいる。



「カラスのあみちゃん®」利用例

企業の声

知財センターの指導によって書式の技術的なことが身についたほか、特許を調べることで他社の開発動向を知り、研究できたことが大きなメリットになりました。特許を武器として「カラスのあみちゃん®」の全国展開によって、企業としても一段高いステージを目指したいと思います。

東京都知的財産総合センター所長
生島 博

当センターを利用し、経営に生かしている企業の取り組みを紹介している「成果事例集」を発行しています。



知財のよろず相談を専門家集団(相談員・弁理士・弁護士)がサポート!

東京都知的財産総合センターでは、中小企業の皆さまの知的財産に関するご相談を承っております

【無料・予約制】TEL 03-3832-3656

会社トップページ → メニュー一覧 知的財産